

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2		1	手狭感はあるが、多機能の事業所なので、放課後デイ用、児童発達用の訓練室スペースを分けている。利用定員から見れば適切になっている。
	2	職員の配置数は適切であるか	2	1		・配置基準は満たしているが、男性スタッフが足りない
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			3	賃貸物件であり、福祉事業目的に作られたわけではないのでバリアフリーには課題がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	1	2		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2		1	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3			ホームページと事業所内掲示を行っている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			3	第三者評価は未実施。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3			施設内研修として臨時職員を含めた研修会を年2回実施している。施設外研修はコロナ禍であるのでZOOMにて参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		1	2	標準化されたアセスメントツールは使用していない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2	1		・コロナ禍においてはプログラムの選択肢が狭まってしまう。 ・アンテナを高く張り、利用児の興味、関心ごとを取り入れられるような活動を探している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	1		休日、長期休み中は実施が難しい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	3			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3			毎日、支援者全員参加で打ち合わせを実施している。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	2		・常勤職員では行うようになっているが、その日のというのは難しい。 ・長期休み中は難しいが、平日は翌日に情報を共有している	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3			半年に1回見直している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	3				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	2	1		・稲荷山養護とは情報共有ができていと思うが、地域校は保護者を通じて情報を得ることが多い。下校時刻の確認等で学校に連絡を取るときもある。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		3			医療的ケア児の実績はない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3				可能な限り可能な範囲で実施している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	2			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	1			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			3		コロナ禍においては交流は難しい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			3		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3				保護者の迎えの際や連絡ノートを利用している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		1	2		
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3				面談や支援会議の際に行う。

責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			3	保護者会なし。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3			法人の苦情解決に関する規程どおりに実施している。
非常時等の対応	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3			毎月お便りを出している。
	35	個人情報に十分注意しているか	3			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			3	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	1		マニュアルは事業所内に置いていて、誰でも閲覧できるようになっている。
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3			職場研修の他、セルフチェックをすることで適切な支援に努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			3	当該事例がない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			3	当該事例がない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3			

